



校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ⑫

令和2年9月4日（金）

「メディア・リテラシー」

今日で、宗高・宗中の学年別クラスマッチ「スポーツフェスティバル2020」が全て終了しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で鳳雛祭も体育祭も中止になった今年、本校最大の学校行事でしたが、天候にも恵まれ、宗高・宗中のみなさんの高い意識と行動によって、熱中症や大きな怪我等もほとんどなく無事終了することができました。このことが何よりも素晴らしいことだと思っています。

運営にあたってくれた生徒会、体育委員、保健委員、そして実行委員とリーダーの惜しみない尽力と、宗高生・宗中生全員の理解と協力、積極的な参加によって、「スポーツフェスティバル2020」は大成功を収めることができました！

まさに宗高生・宗中生全員の本物の「やさしさ」と、信頼関係と互いのリスペクトに根ざした「厳しさ」が発揮され、真に強い「チーム」宗高・宗中の姿を見せてもらいました。

学年や中学校のブロック統一のデザインによるクラスやブロックごとの色とりどりのTシャツが、みなさんの笑顔と共に躍動した素晴らしい1週間でした。

みなさんも知っている通り、去る8月28日に安倍首相が記者会見で総理大臣職の辞任表明をされました。首相の持病である完治が見込めない難病悪化による辞任表明ということでした。

まずもって、安倍首相の御病気を御見舞い申し上げるとともに、完治困難な大変な持病があるにも関わらず、総理大臣という激務を7年8ヶ月もの長期にわたって務められたことに心から御慰労申し上げます。

このことで、ちょっと気になった、みなさんにぜひ気づいてほしいことがあります。それは首相の辞任をきっかけに、大手メディアやSNS等の安倍内閣や首相に対する論調が大きく変化したことです。首相の辞任表明の前は、大手メディアやSNS等では、新型コロナウイルス感染防止対策をはじめ、首相や内閣に対する非常に厳しい批判的論調が大勢を占めていました。しかし、首相の辞任表明後は、まったく正反対の論調に大きく変化したように感じられました。言うまでもなく総理大臣や国

務大臣、国会議員は「権力」を持つ最高度の「公人」ですから、その仕事に対するメディア等による批判等は致し方ないところであり、それは民主主義社会における健全なメディアの役割でもあります。その一方、総理大臣や国会議員であっても一個人（＝「私人」）であることも忘れてはなりません。首相の病気等はまさに首相の「私人」としての部分になります。ですから、これはこれ、それはそれとして、この両者がきちんと峻別された報道がなされなければならないのではないのでしょうか。

こうした観点から、みなさんに是非つけてもらいたい力が、「現代社会」や「公民」の授業でも学ぶ、「民主主義社会におけるメディアの機能を理解し、様々な形態のメディア・メッセージにアクセスし、それを批判的に分析・評価し、創造的に自己表現し、それによって市民社会に参加し、異文化を超えて対話し、行動する」メディア・リテラシーです。可能な限り複数のメディアにアクセスし、それを批判的に吟味し、自分の頭で考え、総合的に理解、判断していく力が求められます。そのためには、日頃から社会や政治に関心を持ち、読書や体験によって自分の世界や考えを広め、深めて「クリティカル・シンキング」ができるようになることが必要です。私たちが勉強する目的の一つは、このことにあると言っても決して言い過ぎにはならないはずです。

大手メディアはもとより、SNS等でも様々な大量の情報に晒される現代社会に生きる私たちだからこそ、特定のメディアに踊らされたり、メディアによって考えが歪められたりミスリードされないための力を身につけることは非常に重要なのです。

観測史上最大、特別警報発令級の勢力である台風10号が接近しています。日曜日6日の午後から7日月曜日にかけて福岡に最接近するという予報が出ています。気象庁の記者会見でも、かつて経験したことがない勢力の強さ（910ヘクトパスカル！？）であり、最大限の警戒、命を守る行動が必要であると繰り返しアナウンスされています。

本校は、6日日曜日は原則部活動中止・終日登校禁止、7日月曜日は臨時休校（登校禁止）として
います。

台風10号を決して甘く見ることなく、私たちもできうる限りの備えと安全確保に努めましょう！

校長 深瀬 信也